

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	学校法人二葉学園 ふたばこどもセンター		
○保護者評価実施期間	令和8年4月13日		～ 令和8年4月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	令和8年4月13日		～ 令和8年4月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・発達段階に応じた小集団での療育プログラムを提供していること。	年齢や発達ニーズに応じて5名程度の小集団を午前・午後で設定し、集団場面での成功体験を積み重ねていけるような支援を行っています。また室内のスペースや園庭を利用し、幼児期の子どもたちが十分に身体を動かしたり、子どもが自然物に触れ、自ら気づいて遊ぶことから学ぶ機会を大切にしています。	職員一人一人が活動のねらいや意図を理解し、子どもの発達に応じた支援プログラムを提供できるよう努めます。
2	・関係機関との情報共有、連携体制があること	同法人である葛飾二葉幼稚園と連携を推進する定期研修を行っています。また利用児一人一人について1回/月の情報共有を行うことにより、集団場面での状況を把握し、より多面的な発達ニーズを捉えることができます。	引き続き連携を勧めながら、個々の発達支援に有用となるよう情報共有を行っています。また職員の専門性を高めるために内部・外部での研修の機会を設け、実践力を高めていきます。
3	・1回/月程度の面談を行い、療育活動での姿や発達の様子について保護者と共有を行っていること	療育活動での姿を保護者と共有し、家族の意向やニーズをお聞きしています。面談を通して発達状況や課題について相互理解を深め、必要な支援や相談を行っています。	引き続き定期的な保護者面談を実施することで、よりの確な発達支援、家族支援ができるよう努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者のニーズに応じた交流の機会を設ける必要があること。	学年ごとに「父と遊ぶ会」や「就学についての保護者交流会」を行っています。少し先のことや就学後のことを知りたいという保護者のニーズには応えられていません。	他学年の保護者と交流できる場を設けることで、家庭間の支援向上につながる可能性があります。ニーズに沿ったテーマで募集をかけるなど、内容や周知の方法についても工夫していきます。
2	・保護者にSNS等での情報発信をしていないこと。	アプリ等の導入を検討しているが、安全に使用していくために職員が操作方法などを習得する時間が十分にとれない。	保護者が利用しやすい環境を整えて行けるよう、できる限り早い導入が実現するよう準備していきたいと考えています。
3			